

令和2年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	2. 中央公民館管理運営事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	3. 公民館費	担当所属	中央公民館

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
							平成28年度	平成29年度
経常	単独	通常	0	0	19,039		-	-
							-	-
							-	-
							-	-
							-	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	3,226	
本年度当初査定額	3,219	19,386

財源内訳	使用料及び手数料	諸収入					その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0					3,226	△3,226
本年度当初査定額	2,940	279					0	16,167

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 地域住民各層の利用に応えるため、サービス業務の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の提供を行います。(団体、グループ単位) 利用時間 午前9時～午後9時(月曜日と祝日は、午後5時まで) 休館日 第2・4月曜日、及び年末・年始(12月28日～1月4日)。 備品の提供を行います。(団体・グループ単位) 館外貸与できるもの(机・椅子・拡声装置) 	<p>(事業の目的) だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことに努めます。</p>	<p>(事業の効果) 安全で快適な学習活動の場と機会を提供しています。(平成30年度実績) 利用人数104,261人</p>
<p>(事業実施上の問題点) 施設老朽化による経年劣化が顕著であり、修繕箇所が増加傾向です。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 公民館使用料収入を見直し、増額しました。</p>	<p>(見直しについての特記事項) 平成30年7月から公民館を有料化したため、公民館使用料を歳入として計上しています。 会計年度任用職員制度の導入に伴い、事業の見直しを行いました。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
08	51	59	△8
10	9,737	10,250	△513
11	377	373	4
12	8,606	8,950	△344
13	400	398	2
17	149	301	△152
18	66	59	7

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								14	01	08	04
	21	05	04	01	50	05	コピー機使用料	262	255	257	△2
	21	05	04	01	50	20	自動販売機設置電気料	24	24	22	2
差引一般財源								△3,226	16,167	△3,099	19,266